

令和5年度
内閣府
特命担当大臣表彰
奨励賞
千葉県推薦

千葉県立東金特別支援学校 パラスポ推進隊

(千葉県東金市)

【団体概要】

➤ 平成30年発足。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催を契機として開始されたものであり、共生社会の実現に向け、校内・地域にパラスポーツの魅力をもっと広めることを目的とした児童・生徒を主体とした活動を展開。



(パラスポ推進隊)

同校は小学部から高等部まで約150名の生徒が在籍し、毎年、全校集会で隊員を募集、20名前後が応募・参加。

【功績・功労】

➤ 障害のある児童・生徒が講師として学区の小中学校や地域等を訪問し、パラスポーツ「ボッチャ」を通じて、交流を図る「パラスポキャラバン」を実施。パラスポーツを通して地域とつながり、周囲が共生社会について考えるきっかけが生まれる等、共生社会の形成に向けた一つのモデルとなっている。



(パラスポキャラバン)

- また、地域住民向けパラスポーツ体験会の開催、ポッチャに関する説明動画の作成、活動内容を地域に向けて発信する「パラスポ通信」の発行など、児童・生徒が主体的に取り組み、パラスポーツの楽しさを積極的に発信。



(オリジナル説明動画)



(パラスポ通信)

- 令和3年、これまでの取組が評価され、国際パラリンピック委員会が設立した賞で、インクルーシブな世界の実現に多大な功績を修めた学校に送られる「I'm POSSIBLE アワード開催国特別賞」を受賞。

本取組が波及し、県内の特別支援学校が教育機関・地域団体等を対象にパラスポーツ用具の貸与や特別支援学校児童・生徒による出前授業がさらに活発となった。



(国際パラリンピック委員会)

「I'm POSSIBLE アワード開催国特別賞」受賞



(パラスポーツ用具)